



企画展

宮中からのおくりもの

- 会 場 1階 松平家史料展示室
- 会 期 令和7年4月25日(金)
～ 令和7年6月15日(日)

16代福井藩主松平春嶽とその嫡男慶民^{よしだみ}ゆかりの資料をまとめた「福井市春嶽公記念文庫」には、皇室からいただいた品々が多く含まれています。その背景には、春嶽が明治3年(1870)に^{じゃこうのま}麿香間^{しこう*}伺候に任じられて明治天皇に近侍し、慶民は宮内省(現宮内庁)に長年勤めるなど、親子で明治・大正・昭和天皇3代に近しく仕えたことがあります。

本展では、春嶽と慶民、親子2代にわたって皇室からいただいた美術工芸品を紹介します。

※麿香間伺候：明治維新に功績があった華族や官吏に与えられた名誉職。宮中の麿香之間へ月に数度参内し、国事に関して天皇の諮問を受けた。

【様々な拝領品】

天皇からの下賜^{かし*}は、臣下の功績^{ねざら}への労いや病気などの見舞い、援助など天皇の「思召^{おぼしめし}」(お気持ち)の表明や献上^{けんじょう}への対価、晩餐会などの記念として行われました。福井市春嶽公記念文庫に遺る拝領品^{へいりょう}の中には、旅行のお土産や天皇の遺品分けとしていただいたものもあります。

明治初期に春嶽が拝領した品々は、装束や扇、盃など江戸時代までの贈答品と共通していますが、やがて置物や花瓶といった室内装飾品が中心となります。また、素材も陶磁器や漆器のほか、銅や銀の製品を確認することができます。

銅製花瓶は明治10～20年代前半に天皇から臣下や外国への贈答品として多く用いられており、春嶽も明治15年に『徳川礼典録』編纂の功勞により明治天皇から金銀象嵌花瓶^{そうがん}(銅製)を拝領しています。その後、明治20年代半ば以降になると下賜品に銀製品が増えていき、慶民ゆかりの拝領品には皇室の慶事の際にいただいた銀製の花器や置物などを確認することができます。

※下賜：高貴の人が下の人に物を与えること。

献上：下の者から主君や高貴の人にものおくこと。

拝領品：主君・貴人からいただいた物。



御引直衣
明治5年拝領
(福井市春嶽公記念文庫 当館蔵)



金銀象嵌花瓶
明治15年拝領
(福井市春嶽公記念文庫 当館蔵)



双鶴置物
大正14年拝領
(福井市春嶽公記念文庫 当館蔵)

おかいあげひん 【御買上品の拝領】

下賜された美術工芸品の中には天皇が博覧会等で買い求めた品である「御買上品」も多く、春嶽や慶民が拝領した品にも確認することができます。

江戸時代まで美術工芸品の需要者であり、職人らを保護していた幕府や藩に代わって、近代には皇室が美術工芸の保護と発展に大きな役割を果たしました。皇族が内国勸業博覧会[※]や展覧会に出品された優秀作品を買い上げることは、その方策の一つで、お買い上げされた美術工芸品は、宮中を彩るとともに、備蓄されて下賜品にも用いられました。大正時代になると、御買上品は一般にも公開され、広く市民が美術に親しむ機会となりました。

※内国勸業博覧会：明治政府が殖産興業政策の一つとして明治10年から36年まで計5回開催した総合的な博覧会。美術工芸品だけでなく、農業や園芸、機械部門など多分野にわたる展示がなされた。



真葛焼白鷺模様花瓶
初代宮川香山作
明治22年頃拝領
(福井市春嶽公記念文庫 当館蔵)

【皇室と松平慶民】

松平春嶽の嫡男・慶民は、春嶽に伴われて明治20年3月31日に初めて嘉仁親王（後の大正天皇）の御殿へ参殿しました。この時、嘉仁親王は8歳、慶民は5歳でした。その後も春嶽が参殿する折に慶民が同行したり、時には慶民が一人で伺うこともありました。その際に嘉仁親王から玩具などを拝領しています。

慶民は、明治42年に7年に及ぶイギリス留学から帰国したのち、大正元年（1912）に宮内省に入り、侍従として天皇の側近くに仕え、式部職、宗秩寮[※]に勤めました。慶民はその語学力を活かして、海外からの使節の応接や皇族の海外渡航の随行員を勤めました。海外の貴賓を迎えた晩餐会へ通訳として参列した際に拝領したボンボニエール[※]などからは、皇室外交における慶民の功績がうかがわれます。

その後、慶民は昭和21年（1946）には宮内大臣となり、同23年に退任の折には皇室から数々の慰労の品をいただいています。

※式部職：宮中儀礼を担当 宗秩寮：皇族・華族に関する事務を担当



毛植白馬
明治19年拝領
(福井市春嶽公記念文庫 当館蔵)



桐花図印籠形ボンボニエール
大正12年拝領
(福井市春嶽公記念文庫 当館蔵)



金梨子地和歌浦図蒔絵料紙箱
昭和23年拝領
(福井市春嶽公記念文庫 当館蔵)

主要参考文献

『明治デザインの誕生—調査研究報告書『温知図録』—』東京国立博物館編 国書刊行会 平成9年
『福井県文書館資料叢書 越前松平家家譜 慶永』福井県文書館 平成22年～23年
『皇室の名品 近代日本美術の粋』展図録 日本経済新聞社 平成25年
『大名家族たちの明治』展図録 福井市立郷土歴史博物館 平成27年
『皇室と越前松平家の名宝—明治美術のきらめき—』展図録 福井市立郷土歴史博物館 平成30年
『花ひらく皇室文化—明治宮廷を彩る技と美—』青幻舎 平成30年
「福井市春嶽公記念文庫 ボンボニエール」福井市立郷土歴史博物館 平成30年

次回の展示

企画展 令和の大修理 重要文化財 大安寺
令和7年6月20日（金）～8月17日（日）

展示解説シート No.176 令和7年4月25日発行
福井市立郷土歴史博物館 〒910-0004 福井市宝永3-12-1
電話 0776-21-0489 Fax 0776-21-1489
担当：藤原千穂 印刷／宮本印刷